

2025年9月21日 聖霊降臨後第十五主日礼拝説教
「この世と御国のうちに」(ルカ16章1～13節)

○ルカ16章4節のみことば

「管理の仕事をやめさせられても、自分を家に迎えてくれるような者たちを作ればいい」
救い主イエスの語る譬えに出てきた管理人は、無駄遣いが金持ちの主人に知られたので、辞めた後の生きる術を考えた。

「これがあなたの証文だ…五十バトスと書き直しなさい。」(6節)
管理人は、主人に借りがある人々の証文を勝手に書き換え、その額を低くすることによって、彼への貸しを作らせた。

○ルカ16章8節のみことば

「主人は、この不正な管理人の抜け目のないやり方をほめた。」
金持ちの主人は、管理人が、先を見通しながら、富を役立て、人との繋がりを築いて、生き抜く道を整えたことを称えた。

今日のみことば：ルカ16章9節

「*^{ふせい}不正に^{とみ}まみれた^{ともだち}富で^{つく}友達を作りなさい。」

*【原語】救いに至らないもの、この世のこと

☞キリストは、世の富や人との関わりは、神を信じる者にとっても、生きていくうえで欠かせないものだと言った。

「そうしておけば、金がなくなったとき、あなたがたは永遠の住まいに迎え入れてもらえる。」(9節の続き)

問：お金や交わりが、救いに導くものとなるのか？

①受けたものを貧しき者や助けを求める人に献げていく。

②キリストの御体に結ばれた友の命が守られるために。

☆教会も、世の富、人の繋がりがないと立ち行かなくなる。

○ルカ16章13節のみことば

「あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」

※富は、献げて新たな命と善き友を得るために使うもの。